



平成22年7月5日

## 強風・突風にご注意！

～今年に入り事故は増加傾向～

去る6月12日に山口県において、野球用のバックネットを数人で運んでいたところ、小学校4年生の男児が強風にあおられて倒れたバックネットの下敷きになり、死亡する事故が発生しました。

東京消防庁管内では、平成18年から平成22年5月末までに、強風や突風のため、転倒物の下敷きとなったり、歩行中にバランスを崩すなどの事故で766人が医療機関に救急搬送されています。

本年に入り、こうした事故による負傷者が増加していることから、台風シーズンを前に、当庁では注意を呼びかけています。

- 1 初診時程度別では、「中等症」（入院を要するもの。）以上となったものが約26%にのぼります。
- 2 平成22年は、1月から5月までに120人が救急搬送されており、平成18年から平成21年までの同時期（426人：年平均106.5人）と比較すると搬送人数が増加しています。
- 3 4歳以下の「乗り物等があおられ転倒等」による救急搬送人員は、平成18年から平成21年までの年平均が4.25人ですが、今年は、5月末現在で既に5人にのぼっています。
- 4 要因別では、「歩行中などにバランスを崩す」が半数以上を占めています。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

当庁では、強風や突風による救急事故の発生状況を注視し、注意を促すなど、都民の安全確保に努めてまいります。

問い合わせ先

東京消防庁 (代) 電話 3212 - 2111  
生活安全課生活安全係 内線 4206  
広報課報道係 内線 2345～2349

## 強風・突風による救急事故の発生状況について

## 1 発生状況（平成18年1月1日から平成22年5月31日まで）

## (1) 要因別・年齢層別発生状況（単位：人）

5歳以上の年齢では、「歩行中等にバランスを崩す」、「飛来物、落下物との接触等」、「ドア、扉に挟まれる等」の要因が比較的多くを占めているが、4歳以下では、自転車やベビーカーなどの「乗り物等があおられ転倒等」が22人と最も多くを占めている。

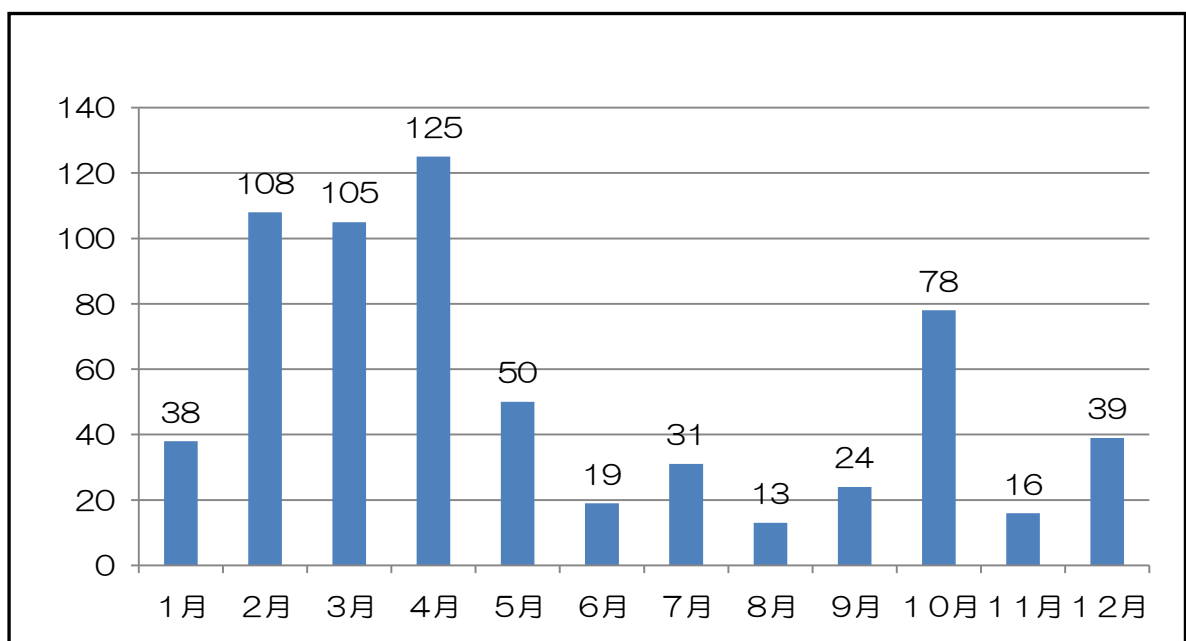
	4歳以下	5～9歳	10～49歳	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	合計
歩行中等にバランスを崩す	2	7	27	20	42	121	160	35	414 (54.0%)
飛来物、落下物との接触等	3	3	54	14	10	15	2	1	102 (13.3%)
ドア、扉に挟まれる等	8	11	22	10	10	10	4	4	79 (10.3%)
乗り物等があおられ転倒等	22	8	6	6	7	7	3	—	59 (7.7%)
転倒物の下敷き等	1	6	21	4	6	10	3	—	51 (6.7%)
傘があおられ転倒等	—	1	1	5	3	6	18	1	35 (4.6%)
その他	1	—	14	2	3	5	1	—	26 (3.4%)
合計	37 (4.8%)	36 (4.7%)	145 (18.9%)	61 (8.0%)	81 (10.6%)	174 (22.7%)	191 (24.9%)	41 (5.4%)	766 (100%)

(2) 初診時程度別発生状況（単位：人）

	軽症	中等症	重症	合計
歩行中等にバランスを崩す	284	124	6	414
飛来物、落下物との接触等	90	9	3	102
ドア、扉に挟まれる等	58	21	—	79
乗物等があおられ転倒等	47	12	—	59
転倒物の下敷き等	46	5	—	51
傘があおられ転倒等	29	6	—	35
その他	16	7	3	26
合計	570 (74.4%)	184 (24.0%)	12 (1.6%)	766 (100%)

- (凡例) ・重症：生命に危険があるもの  
・中等症：生命に危険はないが、入院の必要があるもの  
・軽症：入院の必要がないもの

(3) 月別発生状況（単位：人）



※月別発生状況については、平成18年1月1日から平成21年12月31日までで集計

## 2 事故要因別の主な事事故事例

平成22年1月から5月までに、強風・突風による事故で120人が救急搬送されており、平成18年から平成21年までの1月から5月まで（426人：年平均106.5人）と比較すると今年は発生件数が多くなっている。

なお、死傷者は発生していないが、マンション10階のベランダにあった物干し竿が強風のため物干し竿受けから外れ、隣の建物の7階の出窓上部に落下するなど、一歩間違えれば死傷者が発生していてもおかしくない事例もある。（写真参照）

事故要因	事例概要
歩行中などにバランスを崩す	平成22年4月、40歳代女性が路上を歩行中、強風にあおられ転倒し左腕を受傷したものの（軽症）。
飛来物、落下物との接触等	平成22年3月、60歳代男性が、自宅前の道路を掃き掃除していたところ、暴風のため突然落下してきた看板が腰部にあたり受傷したものの（中等症）。
ドア、扉に挟まれる等	平成22年3月、70歳代女性が、玄関ドアを開けていたところ、強風により突然ドアが閉まったため、右手の指を挟み受傷したものの（軽症）。
乗物等があおられ転倒等	平成22年4月、保護者が、1歳男児を自転車の前籠に乗せた状態で、公園の入園チケットを購入していたところ、強風にあおられ自転車が転倒し、1歳男児が頭部を受傷したものの（中等症）。
転倒物の下敷き等	平成22年2月、12歳男児が、野球の練習中に、高さ約1.8メートルほどのトスバッティングネットが風にあおられたために倒れ、ネットの金属製の支柱が男児の頭部にあたり受傷したものの（中等症）。
傘があおられ転倒等	平成22年2月、90歳代女性が、傘を差して買い物用のカートを押して帰宅途中、強風にあおられて転倒し受傷したものの（中等症）。

### 一歩間違えたら・・・大惨事に

物干し竿が強風のため物干し竿受けから外れ落下した事例（死傷者なし）



### 3 事故防止のポイント

強風や突風が多く発生する時期は、天気予報をこまめにチェックするなどして、次の点を心がけてください。

なお、東京消防庁本所防災館（墨田区横川4-6-6）では、暴風雨体験コーナーが設けられており、風速毎秒30mの暴風を体感することができます。

- (1) 強風や突風の際は、外出はできるだけ控えるようにする。特に外出時に傘をさすときは、十分に注意する。
- (2) ドアの開閉時には、十分注意する。
- (3) 強風や突風が予想されるときは、ベランダなどに置いてある植木鉢や物干し竿など飛ばされるおそれがあるものは、室内に取り込んでおく。
- (4) 自転車・ベビーカーを離れる際などは、子供を自転車・ベビーカー等に乗せたままにしない。
- (5) 施設管理者は、強風や突風時に物が飛ばされないよう、きちんと固定処置等を施しておく。
- (6) スポーツ指導者は、強風や突風時には練習を中止するなど、安全側に立った指導を心掛ける。

【参考】風の強さと吹き方（出典：気象庁ホームページ）

平均風速 (m/s)	おおよそ の時速	予報用語	人への影響	屋外・樹木の様子	建築物の被害
10以上 15未満	～50km	やや強い 風	風に向かって歩 きにくなる。 傘がさせない	樹木全体が揺れ る。電線が鳴る	取り付けの不完 全な看板やトタ ン板が飛び始め る
15以上 20未満	～70km	強い風	風に向かって歩 けない。転倒す る人もでる	小枝が折れる	ビニールハウス が壊れ始める
20以上 25未満	～90km	非常に強 い風	しっかりと身体 を確保しないと 転倒する		鋼製シャッター が壊れ始める。 風で飛ばされた 物で窓ガラスが 割れる
25以上 30未満	～110 km		立ってられない。 屋外での行 動は危険	樹木が根こそぎ 倒れ始める	ブロック塀が壊 れ、取り付けの 不完全な屋外外 装材がはがれ、 飛び始める
30以上	110km ～	猛烈な風			屋根が飛ばされ たり、木造住宅 の全壊が始まる